

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
L2	比較文化論 Theories of Comparative Cultural Studies	浦田 葉子	教養	2	選択	1年秋
科目の概要						
この科目では異文化の存在を認識することによって、広い視野を持つことと、異文化コミュニケーションに対応するための知識を深めることを目指します。個人ワークとグループワークによって、問題に取り組みながら、比較文化論の基本概念と理論を学びます。この科目は地域社会とマネジメントに関する基礎的・体系的な知識・技術の修得につながります。						
学修内容			到達目標			
文化の多様性について学ぶ。 比較文化研究の基本概念を学ぶ。			自分の文化を相対的に見られるようになる。 比較文化研究の基本概念を事例を通して理解し、異文化間の問題解決に役立てることができる。			
学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏 み出す 力	主体性	基礎概念を実際の場面でどう生かしたらいいか、自分で考えることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	授業の課題を着実にこなすことができる。				
考え抜 く力	課題発見力	多文化共生のために解決すべき問題が何かを認識することができる。				
	計画力					
	創造力	従来の常識を超えて、多文化社会における問題解決策を提案することができる。				
チーム で働く 力	発信力	聞き手を意識して、はっきりと話すことができる。				
	傾聴力	集中力を高めて、他者の説明・発表を聴くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	時間を守ることができる。教科書、筆記用具を持参することができる。配布物を整理することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:原沢伊都夫『異文化理解入門』研究社、2013年。本体 ¥2,200 + 税 プリント随時配布。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:エスニシティ論						
学修上の助言			受講生とのルール			
授業で扱う話題をきっかけに、社会の中の多様性に目を向けてください。			授業開始時刻20分を超える遅刻は出席簿の上では欠席として扱います。授業参加はできません。途中退出の際は教員に名前と理由を伝えてください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	30	①	✓	レポート試験では、小課題で調べてきたことを基に、出題の意図を理解し、根拠を明らかにし、自分で考えて説明していることを評価する。 (40字×30行×3枚)		
				②	✓			
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		30	①	✓	小課題提出の回数と内容によって平常の力と努力を評価する。 予習・復習ができてきているか評価する。 事例を通して異文化を分析する。 基本概念を理解した上で、問題解決策を提案する。	
					②	✓		
					③			
					④			
					⑤			
		レポート				①		
						②		
						③		
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)			30	①	✓	レポート研究対象発表(5点)とレポート概要発表(10点)を評価する。 個別またはグループでの授業中のワークのまとめ発表(15点)を評価する。		
				②	✓			
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	主体性 基礎概念を実際の場面でどう生かしたらいいか、自分で考えて発表する。 実行力 授業の課題を着実にこなすことができる。 課題発見力 多文化共生のために、解決すべき問題は何かを認識して発表する。 創造力 従来の常識を超えて、多文化社会における問題解決策を提案することができる。 発信力 聞き手を意識して、はっきりと話す。 傾聴力 集中力を高めて、他者の説明・発表を聴く。 規律性 時間を守る。教科書、筆記用具を持参する。配付物を整理する。		
				②	✓			
				③				
				④				
				⑤				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
基本概念を理解し、異なる事例に当てはめて、分析できる。S(秀)はさらに、複数の事例を比較し、仮説を立てることができる。	基本概念を理解し、授業で扱った事例に当てはめて、分析できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	科目概要と教材を確認する。自分の異文化体験を振り返る。図書館利用方法を確認する。	講義、個別ワーク(振り返り)、グループワーク(まとめ) 予復習ワークは、発表提出物返却の時にフィードバックを行う。	科目概要と図書館利用方法が理解できる。 教科書を入手する。	(復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	異文化を理解する(異文化交流の歴史と異文化理解の意義)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第1章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第1章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。 (復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	文化の概念を理解する(文化の氷山モデル;常識/非常識)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第2章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第2章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。 (復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	文化の概念を理解する(トータルカルチャー/サブカルチャー;文化の特徴;文化的側面/個人的側面/普遍的側面)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第3章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第3章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。 (復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	異文化適応のプロセスについて学ぶ(適応;カルチャーショック)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第4章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第4章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。 (復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	文化の違いを認識する(行動による;視点による;環境による)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第6章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第6章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。 (復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	異文化認識の形成について学ぶ(固定観念;ファイリング;ステレオタイプ)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第7章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第7章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。 (復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	差別を考える(差別の種類と背景)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第8章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第8章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。 (復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	世界の価値観について学ぶ(個人主義/集団主義;性善説/性悪説;高コンテキスト/低コンテキスト;モノクロニック/ポリクロニック)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第9章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第9章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。(復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	異文化受容のプロセスについて学ぶ	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第11章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第11章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。(復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	自文化を客観視するために自分自身を知る(ジョハリの窓)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第12章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第12章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。(復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	非言語コミュニケーションについて学ぶ(重要性と種類)	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第13章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第13章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。(復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	相手と自分を両方大切にするアサーティブ・コミュニケーションについて学ぶ レポート研究対象を発表し、質疑応答する。	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第14章の基本概念と理論が理解できる。 レポート研究対象が発表できる。	(予習)テキスト第14章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。(復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	多文化共生社会の実現に向けて考える	グループワーク(確認チェック、ワーク)、個別ワーク(考えよう)、講義(概念、理論)	第15章の基本概念と理論が理解できる。	(予習)テキスト第15章を読む。わからない用語の意味を辞典で調べる。(復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	この授業で学んだことを振り返る。 レポート概要を発表し、質疑応答する。	個別ワーク(振り返り)、講義(概念、理論)	これまで学んだ基本概念と理論が理解できる。 レポート概要が発表できる。	(予習)テキストを読み返す。わからない用語の意味を辞典で調べる。(復習)授業で扱った事柄一つに関する本または新聞記事を検索し、文献情報を記録する。	90 90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: ①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力